

# 地域日本語どっとねっとトークサロン

## 学習者が来なくなった日本語教室、どう立て直す？

—共生のまちづくりをめざす活動を通して見えてきたこと—

日時:2024年3月1日(金)19時30分~20時30分

形式:オンライン(zoom 使用)

定員:100名

参加費:無料

### 【内容】

「学習者が定着しない」「学習者が減ってきた」という声が、全国の日本語教室からあがっています。この状況に対し、教室を日本語学習から交流の場へと転換することは解決策となるでしょうか。北海道江別市の日本語教室は、学習者が減った日本語教室に代わる試みとして、交流の内容を問い直し、住民同士が共生のまちづくりを話し合う「多文化えんげきワークショップ」を開催しています。今回は、平田未季さんにその取り組みについてお話をうかがいます。

### ◆話題提供:平田未季(北海道大学/SHAKE★HOKKAIDO)

協力隊員としてシリア・イエメンで日本語教育にかかわったのち、秋田大学を経て現職。大学で日本語教育を行うかたわら、SHAKE★HOKKAIDO を主宰し、北海道で日本語学習支援および共生支援に関わる人たちをゆるやかにつなぐ活動を行うとともに、演劇の手法を用いた共生のまちづくりワークショップに取り組む。

### ◆進行:深江新太郎(NPO 多文化共生プロジェクト)

地方公共団体と共に日本語教室の開設と再構築に取り組む。福岡県と福岡市が取り組む「地域日本語教育の総合的な体制づくり推進事業」のアドバイザー、コーディネーター。ほかに文化庁委嘱・地域日本語教育アドバイザーなど。著書に『生活者としての外国人向け 私らしく暮らすための日本語ワークブック』(アルク)がある。

主催:地域日本語どっとねっと(アルク、凡人社、NPO 多文化共生プロジェクト、オフィス bamboo)

お問い合わせ・申し込み先(担当:凡人社/坂井)

E-mail: [ksakai@bonjinsha.co.jp](mailto:ksakai@bonjinsha.co.jp)

※メールでお申し込みください。メールでお申し込みの際はタイトルに

「地域日本語教育どっとねっとトークサロン(3/1)」と入れて、

本文に、氏名・所属・連絡先をご記入ください。

➡右記 QR コード、下記 URL からもお申し込みいただけます。

お申込みフォーム <https://x.gd/sD0AO>

